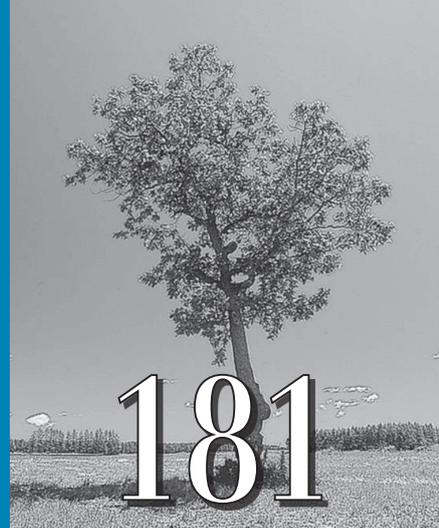


ともにつころう みんなの夢大地

さらべつ議会

令和4年8月10日 発行／更別村議会 編集／議会運営委員会



災害時の備えを確認する

7月19日、総務厚生常任委員会の所管事務調査が行われ、災害時の対応について説明を受けた後、防災・避難用品の状況を確認しました。

議会日誌……………10

意見書を提出……………9

一般質問……………6
2人の議員が2項目に
ついて質問

審議結果……………5

第2・3・4回臨時会……………4

第2回定例会……………2
国保税条例改正案を可決

国保事業の健全化に向け保険税率を見直しへ

国民健康保険税条例の 一部改正案を可決

第2回 定例会



令和4年第2回定例会は、6月6日から10日までの5日間の会期で行われました。
開会日の6日は、報告3件、人事案件、条例の改正4件、規約の変更3件、一般会計ほか3特別会計の補正予算が審議され、条例の改正1件が常任委員会に付託されました。
9日は、常任委員会に付託された案

件、意見書案5件の審議が行われた後、2人の議員が2項目について一般質問を行い、村長の見解を質しました。
提案された議案等はそれぞれ可決され、会期を1日残して閉会しました。

■報告

▼令和3年度一般会計継続費精算
すもも特産品開発振興事業の継続年度（令和2～3年度）終了に伴う精算で、2年間の実績額は43万3千4百円と報告されました。

▼令和3年度一般会計繰越明許費
新型コロナウイルス感染症対策事業、臨時特別給付金給付事業など5事業、合計1千211万6千円を令和4年度に繰り越すものです。

▼令和3年度株式会社さらべつ産業振興公社事業報告
株式会社さらべつ産業振興公社が管理運営する施設の利用状況及び収支状況等について説明があり、令和3年度の

純利益は約582万円（前年比8・9%増）と報告されました。

■選任同意

▼固定資産評価審査委員会委員の選任同意
固定資産評価審査委員会委員として、次の方の選任に同意しました。

旭 区 梶 真澄 氏

■条例の改正

▼過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定
所得税法等の改正により、関係条文を改めるものです。



▼国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

道は、国民健康保険事業の健全化を図るため、令和12年度に保険税率の統一を目指しています。本村においても急激な保険税率等の引き上げとならないよう、今年度から段階的な見直しを図ることし、限度額の引き上げや所得割率・資産割率等を改正するとともに、関係する条文を改めるものです。

▼介護保険条例の一部を改正する条例制定

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した第1号被保険者等に係る介護保険料の減免について、国の支援基準に基づき、令和5年3月31日納期限の保険料についても対象とするよう改めるものです。

▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定

国の基準の一部改正に伴い、特定教育・保育施設等における書面等の記録、作成、保存や保護者への書面の交付等について、電磁的方法での実施

が可能となるよう、関係条文を改めるものです。

■規約の変更

▼北海道市町村職員退職手当組規約の変更

▼北海道市町村総合事務組合規約の変更

▼北海道町村議会議員公務災害補償等組規約の変更

組合への新規団体の加入に伴い、規約の一部を変更するものです。

■補正予算

▼令和3年度一般会計補正予算並びに特別会計・企業会計補正予算

公共施設への空調設備設置、4回目のワクチン接種に係る経費等新型コロナウイルス感染症対策事業、人事異動等に伴う人件費の補正などを主とする一般会計、ほか3特別会計・企業会計の補正予算が提案され、それぞれ原案どおり可決されました。

■ 令和4年度 補正予算の内訳

【第2回定例会(6/6~9)分】

(1万円未満切り捨て)

会計区分	補正額	補正後の予算額	主な増減内容	
一般会計(第2号)	2億722万円	49億4,478万円	・臨時特別給付金給付事業の追加 ・新型コロナウイルス感染症対策事業(役場庁舎、老人保健福祉センター等の一部に空調設備設置ほか)の追加 ・学校給食費保護者負担軽減助成金の増額	
特別会計	国民健康保険(第1号)			
	診療施設勘定	244万円	3億4,904万円	・会計年度任用職員に係る経費の増額
	介護保険事業(第1号)			
	事業勘定	△15万円	3億7,774万円	・人事異動に伴う人件費の減額
簡易水道事業(第1号)	47万円	2億9,253万円	・人事異動に伴う人件費の増額	

■ 次回の定例会は

9月12日(月)
午前10時 開会予定

【傍聴時のお願い】

- ①マスクの着用、手指消毒、検温にご協力ください。
- ②体調がよくないときは、傍聴をお控えください。
- * インターネットからも議会中継をご覧になれます!



議会中継 QR コード

第2回・第3回 第4回 臨時会

第2回臨時会

第2回臨時会が、5月11日に行われました。提案された議案は、それぞれ原案どおり可決されました。

▼村税条例等の一部を改正する条例制定

地方税法等の改正に伴い、住宅借入金等特別税額控除の延長・見直しや、省エネ改修工事を行った住宅に対する固定資産税減額特例の拡充等に係る改正を行うものです。

▼一般会計補正予算(第1号)

主には、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した地方創生テレワーク事業(民間事業者によるサテライトオフィス開設補助)の採択等に伴う増額で、追加補正を行うものです。

第3回臨時会

第3回臨時会が7月12日に行われました。提案された議案は、それぞれ原案どおり可決されました。

▼教育委員会委員の任命同意

教育委員の退任に伴い、次の方の任命に同意しました。

本町 神成奈美恵氏

▼一般会計補正予算(第3号)

主には、新型コロナウイルス感染症対策事業として、消費喚起を促進するクーポン券の配布、社会福祉センター他公衆施設の空調設備工事などの実施に伴う増額で、追加補正が行われました。

第4回臨時会

▼一般会計補正予算(第4号)

第4回臨時会が7月21日に行われました。高齢者が生きがいをもって楽しく過ごせることを目標に、デジタル技術を活用して必要なサービスを提供する「更別スーパービレッジ構想」について、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金の採択に伴い、事業費7億5千337万4千円を追加する補正予算案が提案されました。

採決にあたっては、各議員の賛成・反対の立場を明らかにするための「討論」が行われ、起立採決の結果、賛成多数で原案可決となりました。

討論

【原案に賛成】

小合議員 有効な国の交付金を活用し、押し進めるべき事業だと思う。当然、不安や心配な面は多々あるが、期待値とともに賛成する。

【太田議員】

サブスクリプション(月額定額制)に対し懸念する所もあるが、全員協議会などの会議等で指摘したことは、村側も十分認識したと思う。今後契約に関したことや事業継続に関すること、弁護士やリスクマネジメントに対する見識の深い人が関わり、価値あるものにしていくため、村は住民参画の下、議員や住民の理解を深め進めていくものと思いい、賛成する。

【原案に反対】

織田議員 予算面に不安を抱えた事業であり、村の財政に大きな負担となる要素がある。また、住民説明会や各種事業を行う社協、関係部署への説明が後手にまわっている。企業主導型の構想と思われる。今一度計画を見直し、次回の提出を認め、今回は反対する。



テレワークオフィス整備予定地(旧診療所跡地)



7月14日に開催された住民説明会

補正予算の内訳

(1万円未満切り捨て)

会計区分	補正額	補正後の予算額	主な増減内容
【第2回臨時会(5/11)分】 一般会計(第1号)	7,634万円	47億3,756万円	・地方創生テレワーク事業の追加 ・都市空間情報デジタル基盤構築支援事業(全村3Dマップの作成等)の追加
【第3回臨時会(7/12)分】 一般会計(第3号)	3,811万円	49億8,289万円	・新型コロナウイルス感染症対策事業(社会福祉センター他空調設備工事、商店街活性化事業助成金等)の追加
【第4回臨時会(7/21)分】 一般会計(第4号)	7億5,337万円	57億3,626万円	・更別スーパービレッジ構想推進事業助成金の追加

第2回定例会（6月6～9日）審議した議案と各議員の賛否

※高木修一議長は採決には加わりません。（以下同様）

種類	件名	遠藤久雄	小谷文子	松橋昌和	太田綱基	安村敏博	織田忠司	審議結果
報告	令和3年度一般会計継続費精算の件	-	-	-	-	-	-	報告済
	令和3年度一般会計繰越明許費の件	-	-	-	-	-	-	報告済
	令和3年度株式会社さらべつ産業振興公社事業報告の件	-	-	-	-	-	-	報告済
議案	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める件	○	○	○	○	○	○	同意議決
	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	介護保険条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	北海道市町村総合事務組合理約の変更の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	令和4年度一般会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	令和4年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	令和4年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
意見書	補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書の件	○	○	○	○	○	○	原案可決

第2回（5/11）・第3回（7/12）・第4回（7/21）臨時会 審議した議案と各議員の賛否

種類	件名	遠藤久雄	小谷文子	松橋昌和	太田綱基	安村敏博	織田忠司	審議結果
第2回 議案	村税条例等の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	令和4年度一般会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
第3回 議案	教育委員会委員の任命につき同意を求める件	○	○	○	○	○	○	原案可決
	令和4年度一般会計補正予算（第3号）の件	○	○	○	○	○	○	原案可決
第4回 議案	令和4年度一般会計補正予算（第4号）の件	○	○	○	○	○	×	原案可決

一般質問



2人の議員が
2項目について質問

■ 一般質問とは ■

議員個人が村の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長などに求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかを議員がチェックするものです。質問は、議案とは関係なく村政全般について認められています。

更別村議会では、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。また、質問の方式は、一問一答方式で、1項目ごとに質問と答弁を行います。質問時間は質問と答弁を合わせて1人90分以内、質問回数は1項目3回までとしています。

なお、ナイター議会は現在実施を見合わせています。

ページ	質問事項	質問議員
7	「未来のむら」づくり 更別スーパービレッジ構想の実現に向けた対応について	安村敏博
8	農作業の安全対策について	松橋昌和

『未来のむら』づくり更別スーパービレッジ構想の実現に向けた対応について

村長——『(仮称)更別ソーシャルベンチャー』を設立し、構想を推進する



安村議員

安村議員

今般、スーパーシ

ティ構想の推進に向け申請していましたが、残念ながら非選定となりました。村が目指す「未来のむら」づくりの基本構想が削がれた形となりますが、それに替わるスーパービレッジ構想における三つの戦略について、今後どのような体制整備を図り事業推進するのか。更別村スーパービレッジ協議会での審議経過並びに事業推進に向けた行政サービスとしての財政投入の在り方など事業推進に向け具体性を伴った説明責任義務があると思います。

今般、従来でのA-I-C T-I-O-Tに加え、新たにデジタル田園都市国家構想への

シフトに伴う総合IDによるデータ連携基盤の構築による住民への先進的サービスの導入、普及啓もうを図ろうとしています。現状認識ではかなり難しい事業推進計画だと感じています。

村はすでに、スーパーシティ構想の推進に向け、推進本部の設置、各関係企業との連携強化。更には高齢者、医療への先進技術導入、農業のリモート化に向けた取り組みにつき実証実験を伴う負担をしています。しかし、非選定の要因は過疎化地域での取り組みには限界があるとの結論でもあるとも捉える事が出来、今後、行政サービスとして担うべき事業とは何なのか、しっかりと検証されるべきです。

今般のデジタル構想での計画推進は当然必要との認識ではありませんが、網羅されている事業内容は、行政が担うべき役割と民間事業者が担う役割を明確に区分されるべきです。デジタル事業はスピード化し、更に加速するでしょう。まずは、行政サービス事業の基本をしっかりと構築し、通信・医療・農林業などの関連分野機関との連携を如何に図るかが重要です。自主財源の乏しい村の事業において、国の支援事業があるなしに拘わらず「未来のむら」づくりの基本、住民コミュニティの構築という意味からも、行政サービスとしての必要不可欠な事業であるべきです。

村長 更別スーパービレッジ構想では、100歳世代まで生きがいを持って楽しく暮らしていける地域を目指し、必要なサービスや環境整備などを、行政と民間により「更別型ベーシック・インフラ(以下「B-I-C」サービス)としてパッケージ化して村民に提供し、新たな仕組みを構築

して進めることとしています。更別型B-Iサービスは、村民・事業者・村・民間企業などが関わる(仮称)更別ソーシャルベンチャー」を設立し、必要なサービスを提供します。更別ソーシャルベンチャーは、社会貢献や社会問題解消に取り組む法人であり、利用者と提供者のほか住民や行政が事業推進に関与する仕組みを構築します。具体的には外部理事や村による事業評価、村民への公表と意見交換により問題点や改善方法などを協議し解決していくものです。なお、法人設立までの間は「更別村スーパービレッジ協議会」がその役割を担います。

更別型B-Iサービスは、民間サービスとして構築することから利用者負担が伴いますが、とから利用者負担が伴いますが、質の高いサービスを安定供給するため、企業版ふるさと納税などの制度を活用し資金確保に努めてまいります。

公的資金については、この取り組みから生ずる医療費や介護給付費、行政コストの削減などを勘案しながら、利用者の負担軽減を図ります。ご質問の「行政と民間が担う役割を明確に区分すべき」とのご意見は、この仕組みが公共サービスと民間サービスを受け止めていますが、本村において社会問題解消に必要なサービスは、民間ができるものであっても住民ニーズが高いものや効果的なものは行政が行ってきています。

しかしながら、道路、上下水道などの公共インフラを維持していく必要があり、従来の民間サービスだけではなく、民間を主体とした新しいサービス提供の仕組みづくりが必要と感じているところです。

これまで行政区懇談会や住民説明会など、私自ら本構想の必要性や内容の説明を行い、村民の方々から様々な要望、意見をいただきました。こうした意見等を踏まえた結果、村民の生活の質の向上が図られるものとして、今般、デジタル田園都市国家構想推進交付金を国に申請しました。引き続き丁寧な内容説明とともに、村民の方々が参画した取り組みが大切と考えています。

このままでは、民間が担うべき役割を明確に区分すべきです。デジタル事業はスピード化し、更に加速するでしょう。まずは、行政サービス事業の基本をしっかりと構築し、通信・医療・農林業などの関連分野機関との連携を如何に図るかが重要です。自主財源の乏しい村の事業において、国の支援事業があるなしに拘わらず「未来のむら」づくりの基本、住民コミュニティの構築という意味からも、行政サービスとしての必要不可欠な事業であるべきです。

更別型B-Iサービスは、民間サービスとして構築することから利用者負担が伴いますが、とから利用者負担が伴いますが、質の高いサービスを安定供給するため、企業版ふるさと納税などの制度を活用し資金確保に努めてまいります。

公的資金については、この取り組みから生ずる医療費や介護給付費、行政コストの削減などを勘案しながら、利用者の負担軽減を図ります。ご質問の「行政と民間が担う役割を明確に区分すべき」とのご意見は、この仕組みが公共サービスと民間サービスを受け止めていますが、本村において社会問題解消に必要なサービスは、民間ができるものであっても住民ニーズが高いものや効果的なものは行政が行ってきています。

農作業の安全対策について

村長—J・A・関係機関と連携し、効果的な取り組みを協議する



松橋議員

意識向上に関する研究、成果の公表
農作業事故死は交通事故の5倍、建築業の3倍との報告もあります。早急な対策を求めます。

松橋議員 農水省は、3月1

日から5月31日まで、春の農作業安全確認運動の期間とし、「しめよう！シートベルト」を合言葉に、ポスターステッカーを作成し、安全の啓発をしている。安全、研修、普及、啓発にも、限界があります。労災保険の加入率は、1割にも満たないとの報告もあります。

- ① 農作業自己の統計、政策支援
- ② リスク評価、事故予防システムの構築
- ③ 作業環境の改善
- ④ 農業者の健康、増進、安全

村長 最初に、農業は危険な産業であるとの認識を新たにすること、そして不幸にしてお亡くなりになられた方には、心から哀悼の意を表したいと思います。このことを行政として深刻に受け止め、

J・Aと取り組んでいかなければならないと思いますし、そのような不幸な事態が起きないように取り組んでいくのが行政としての姿勢であると思っています。

色々な形で注意喚起等を行うべきであったということについては、真摯に受け止めて今後対応することを踏まえて、議員の質問にお答えします。本村の農作業事故発生状況に

戸に配布を行って、安全意識の高揚に努めている所です。また、収穫期の10月には各行政区会館に農作業安全啓発のぼりを設置し、注意喚起をしている所です。

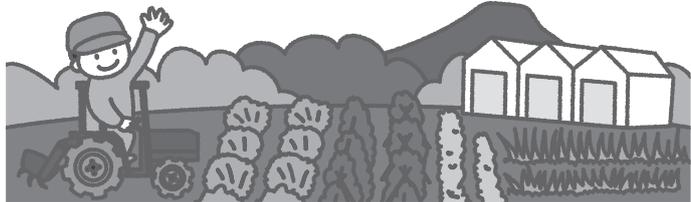
また、J・Aにおいても農作業の始まる4月から毎月定期にF・A・Xによる農作業安全チラシの送信を行うとともに、J・A広報でも啓発指導などを実施しているところです。

このような取り組みの実施により、農家における農作業死亡事故は平成23年以降発生しておりませんでした。本年4月、5月に相次いでいたましい2件の農作業死亡事故が発生したことは痛恨の極みであり、亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするものです。

事故の発生を受け、推進会議では、農作業事故防止のリーフレットを作成し全農家へ配布を行い、改めて農作業の安全実施を呼びかけるとともに注意喚起を行ったところで

議員からは事故を減らすための活動ということで4つの項目についてお示しいた

ておりますが、この項目への取組みに關しましては、全国、もしくは都道府県等広域での対応がふさわしいものと思われ、本村においてシステムの構築・研究行為等に取り組むことは難しいと考えております。今後も従来からの取り組みにより農作業事故防止に努め、更なる農作業の安全に対する意識の醸成を図ることからJ・Aや関係機関と連携を取りながら効果的な新たな取り組みについて協議を進めて参りたいと考えております。



補聴器購入補助等の改善をはじめ、 難聴（児）者への支援拡充を求める意見書

軽度・中等度難聴（児）者については、障害者総合支援法の「補装具費支給制度」の対象外であることから、国の財政負担により補聴器の購入費等に対する補助の実施等を求めるものです。

【提出者】小谷文子
【賛成者】松橋昌和、織田忠司
【提出先】衆議、参議、総理、財務、総務、厚労

女性トイレの維持及びその安心安全の 確保を求める意見書

事業所における男女の区別や、公的施設等不特定多数が使用するトイレにおける女性トイレの維持など、国において女性の安心安全と権利法益を守る諸方策をとるよう求めるものです。

【提出者】遠藤久雄
【賛成者】小谷文子、松橋昌和、織田忠司
【提出先】総理、厚労

国民の祝日「海の日」の7月20日への 固定化を求める意見書

国民の祝日「海の日」について、わが国と海との歴史的、文化的関わりや制定の経緯等を踏まえ、現在の7月第3月曜日から、7月20日に固定化することを求めるものです。

【提出者】安村敏博
【賛成者】遠藤久雄
【提出先】総理

日本政府に核兵器禁止条約の参加・ 調印・批准を求める意見書

被爆国として核兵器全面禁止のために真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に参加、調印、批准することを求めるものです。

【提出者】松橋昌和
【提出先】総理、外務

森林・林業・木材産業によるグリーン成長に 向けた施策の充実・強化を求める意見書

北海道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災・減災対策を進め、森林・林業・木材産業によるグリーン成長実現に向けた施策の充実・強化を図るよう求めるものです。

【提出者】太田綱基
【賛成者】遠藤久雄、小谷文子、松橋昌和、安村敏博、織田忠司
【提出先】衆議、参議、総理、財務、総務、文科、農水、経産、国交、環境、復興

意見書

第2回定例会において意見書
5件が可決され、関係各大臣
及び国会に提出しました。

■提出先

衆議：衆議院議長
参議：参議院議長
総理：内閣総理大臣
財務：財務大臣
総務：総務大臣
外務：外務大臣
厚労：厚生労働大臣
文科：文部科学大臣
農水：農林水産大臣
経産：経済産業大臣
国交：国土交通大臣
環境：環境大臣
復興：復興大臣



政治の今を知る 北海道町村議会議員研修に参加

7月6日、札幌市で開催された「北海道町村議会議員研修会」に、全議員が参加しました。3年ぶりの会場開催となった今回は、参院選の最終情勢や選挙後の政局をテーマに、政治ジャーナリストの泉 宏氏による講演が行われました。



長く政界を取材する泉氏ならではの話に、参加した各議員は熱心に耳を傾けていました。

表敬訪問 東松島市長・市議会議員が来村



6月2日、友好姉妹都市・東松島市より渥美市長、小野幸男議長をはじめ、昨年当選された4人の市議ら一行10人が、本村を表敬訪問されました。村議会からは高木議長、織田副議長が村内視察等に出席、続く交流会には全議員が参加し、互いの絆を深めました。

議会日誌

5月	10日 議会運営委員会	18日 更別村商工会第61回通常総会に議長出席	19日 全員協議会	25日 十勝圏活性化推進期成会定期総会に議長出席	28日 特定非営利活動法人どんぐり村サラリ第15回通常総会に議長出席	30日 十勝圏複合事務組合議会	31日 十勝中部広域水道企業団議会、とかち広域消防事務組合議会に議長出席	6月	2日 東松島市長・東松島市議会議員による更別村表敬訪問に全議員出席	25日 第4回議会臨時会	25日 議会運営委員会	20日 全員協議会	20日 第4回議会臨時会	19日 議会運営委員会	15日 総務厚生常任委員長出席	12日 第3回議会臨時会	12日 更別村戦没者追悼式に議長出席	11日 全員協議会	11日 議会運営委員会	6月7日 北海道町村議会議員研修会に全議員出席	7月	6日 北海道町村議会議員研修会に全議員出席	11日 議会運営委員会	14日 北海道町村議会議員会定期総会に議長出席	22日 第45回更別村高齢者運動会に議長出席	28日 南十勝町村議会正副議長懇話会に議長・副議長出席	6月9日 第2回議会定例会
----	-------------	-------------------------	-----------	--------------------------	------------------------------------	-----------------	--------------------------------------	----	-----------------------------------	--------------	-------------	-----------	--------------	-------------	-----------------	--------------	--------------------	-----------	-------------	-------------------------	----	-----------------------	-------------	-------------------------	------------------------	-----------------------------	---------------

北海道町村議会議長会表彰



6月14日開催の北海道町村議会議長会定期大会において、松橋昌和議員が在職15年以上の村議会議員として、長年にわたり村の振興発展に寄与されたことにより、同議長会から表彰を受けられました。7月12日の第3回議会臨時会閉会后、高木議長から松橋議員に、表彰状の伝達が行われました。



▼盛夏の季節、暫く続いた低温による農作物への影響が懸念されます。また、未だ終息が見えない新型コロナウイルスですが、4回目のワクチン接種が開始されました。

▼明るい話題として、国の「デジタル田園都市国家構想推進交付金」に村が採択されました。補助金額は約5億円にも及び、デジタル化の波と、これらの説明と理解は大前提ですが、100歳までワクワク、世代を超えてみんなでつながりあう幸せな地域であるよう、小さな村の大きな挑戦を注視していく役割があると考えます。議会・行政ともに、皆様との信頼関係が今後益々大切になります。

▼7月10日、第26回参議院議員通常選挙が行われました。皆様も願いを込めて、票を投じたことと思います。

▼私達は日々の安心、安全な暮らしと、持続可能な村発展の一助となるべく、議員一同、微力ながら邁進する所存です。

(小谷委員 記)